

海外の大学入学者選抜についての報告

ーイタリア、トルコ、ギリシャ、スペイン、
ポルトガル、フィンランド、スウェーデン、
デンマーク、オランダ、スイス、ベルギーー

平成5（1993）年から3年計画で、「大学入試における能力評価システムの実際と改善についての国際比較研究」（文部省科学研究費補助金 国際学術研究 研究代表者 坂元 昂 大学入試センター副所長）を開始した。

この研究では、世界各国における大学入学者選抜の最新の制度と実際、そして選抜において問われる能力とその評価のためのシステムを中心に調査することにした。平成5年度にはヨーロッパ各国と中東のトルコの調査を行っ

た。6年度には主として北米・南米各国、そして7年度には主としてアジア・オセアニア各国を調査する予定である。

以下の報告は、平成5年度の調査を分担した坂元 昂、岩坪 秀一、石塚 智一、鈴木 規夫、池田 輝政、平直樹の各6名がそれぞれの調査国について整理したものである。

なお、一般的な読者を想定したので、文中の統計数値や図表の出所となる文献・資料の情報は割愛させてもらった。